

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	経済システム論		
英文授業科目名	Market Economy System		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	中村 宗之		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
wj2m-nkmr@asahi-net.or.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>市場経済・資本主義経済の基本的な仕組みを理解する。          経済的な分配に関する議論を理解し、吟味する。          売り手と買い手との間でそれぞれが持つ情報に違いがある場合などに、どのような問題が生じるのかを理解する。</p> <p>上記の事柄について、十分理解することと、自分なりに論じてみることを達成目標となります。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
<p>テキスト：伊藤誠『資本主義経済の理論』，岩波書店，1989年          参考書：福田豊ほか『情報経済論』，有斐閣，1997年          山口重克『経済原論講義』，東京大学出版会，1985年          その他、ミクロ経済学の教科書など</p> <p>テキストは早めに入手してください。</p>

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

#### (a) 授業内容

1. 価格の決まり方（需要と供給、労働価値説、労働市場）
2. 分配の諸原理（貢献、努力、必要、所有権）
3. 情報の不完全性と経済（保険市場、労働力、政府）

#### (b) 授業の進め方

はじめに経済学の基本的な考え方を学びます。次に、所得分配の問題を扱います。経済的な公正や平等の問題は明確な答えが出しにくい領域ですが、いくつかの議論を紹介し検討します。最後に、すべての経済主体が完全な情報や同じ情報を持っているわけではないという情報の不完全性・非対称性から生じる問題を検討します。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義回数の2 / 3以上の出席を前提条件として、

中間試験 30%

期末試験 70%

という比率で評価します。講義やテキストの内容をほぼ理解できていることが、最低達成基準です。それに加えて、自分なりに問題を論じることができれば、評価はさらによくなります。

### 【オフィスアワー：授業相談】

個別の質問は講義直後か、メールにてお願いします。

### 【学生へのメッセージ】

講義中の質問も歓迎します。

### 【その他】

なし